

令和7年度 浜松特別支援学校城北分校学校経営計画書

1 目指す学校像

(1) 教育目標

共生社会の中で「自分らしく力強く生きる人」を育てる

＜城北分校＞

自分の良さや個性を発揮して地域で学び、共生社会の一員として職業的に自立する人を育てる

将来、職業自立する人	自分時間を楽しめる人	自他を愛し愛される人
------------	------------	------------

(2) 目標具現化の柱

- ア ＜授 業＞ 個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校
- イ ＜安全・安心＞ 命と人権を大切にする学校
- ウ ＜協 働＞ 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校
- エ ＜チ ーム＞ 教職員が夢を持って学校づくりに参画し働きがいを感じる学校

2 本年度の主な取り組み

取組目標	達成方法(取組手段)	成果目標	担当部署
ア ＜授 業＞ 個別最適な学びと協働的な学びを実現する学校			
生徒が夢中になれる学校生活づくり	・時期毎のテーマを核とした年間指導計画の見直しと作成	時期毎、取り組むべきことを明確化・焦点化している。	学部 学年
個別最適な学びの充実	・個別の指導計画やキャリアパスポートを用いた的確な実態把握と学びのプロセスに基づいた目標設定	学びのプロセスと個々の成長を想定した支援目標及び個別の指導計画に基づいた指導ができています。	教務課 学年
協働的な学びの充実	・集団で学ぶ良さの確認と効果的な学びを実現できる集団編成	集団で取り組む良さを生かした授業づくりを実践している。	学部 学年
自立活動の充実	・自立活動の基礎研修実施 ・アセスメントの充実 ・外部講師による校内研修	教育支援計画を基にアセスメントを行的確な指導目標を導き、教育活動全体を通じた指導の中で効果的な学習ができる。	研修課
作業学習の充実	・生徒の自己理解を大切にした作業学習の授業研究 ・学びの見取り・評価を意識した授業実践	達成したい目標とは何かを明確にした授業づくりをしている。 授業や单元ごとに個々の学びを共有できている。	研修課 学部
ICT 活用の促進	・ICT 活用に関する情報提供 ・通信環境の整備に関する相談	ICT を活用した授業づくりをしている。	教務課
健康指導、性の指導の充実	・健康・安全、食育、性に関する知識と体力づくり等の大切さを学ぶ時間の確保	生徒の実態に応じた健康に関する指導ができています。	体育保健課
道徳指導の充実	・単元カードまたは指導カード、年間指導計画に道徳的観点を位置付ける。	各教科等で道徳指導の観点を押さえた指導を行っている。	教務課

イ <安全・安心> 命と人権を大切にする学校			
命を守る意識と行動力の向上	・家庭で過ごす時間及び通学途上での安否確認訓練実施 ・生徒が自身の命を守るための訓練の見直し・改善	COCOO を活用した安否確認に慣れ、開封率・回答率 100%を達成している。 生徒自身の意識が高まる働き掛けや指導ができています。	生徒指導課
安全・快適な環境づくり	・安全点検のマンネリ化防止 ・定期的な職員作業の実施	安全や事故防止を意識した教育活動及び環境設定に取り組んでいる。	体育保健課
事故防止の強化	・ヒヤリハットの状況検証と指導改善	けがや事故の予防を心掛け、事態に応じた配慮を行っている。	体育保健課
人権を守る意識と行動力の向上	・人権研修会の実施 ・自己チェックの実施 ・人権の話題の随時配信 ・いじめを見逃さない学校づくりに向けた対策委員会の実施	学校が生徒の居場所（安心する場）となるよう、人権を意識した言動を心掛けている。 いじめアンケートを実施し、アンケート結果に応じて対応をしている。	生徒指導課
相談体制づくり	・生徒が学校生活の悩みを相談できる場を工夫する	校内で生徒が相談しやすくなるために面談の機会を設定している。	生徒指導課
ウ <協 働> 家庭、地域、関係機関と協働して支援する学校			
発信力の向上	・積極的な広報活動 ・Instagramによる配信	学校を知ってもらえる伝え方、発信の仕方を工夫している。	企画会 学部 教務課
進路指導の充実	・キャリアパスポートの有効活用 ・生徒、保護者への進路・実習に関する情報提供の充実 ・生徒の定員増に対応した実習の内容の見直し、進路のてびきの改定	生徒の「夢」を育み、本人・保護者の「願い」を大切にした進路指導を行っている。	進路指導課
センター的機能の充実	・HPでの窓口等の情報発信 ・メール等での連携校への啓発	高等学校のニーズに対応するため、教育相談、研修支援等への依頼に応じている。	生徒指導課
エ <チーム> 教職員が夢を持って学校づくりに参画し働きがいを感じる学校			
コミュニケーション力の向上	・コミュニケーション研修や「浜松特支の夢を語る会」等の実施	働きやすいチームとなるよう、相手の立場に立った伝え方、受け止め方を心掛けている。	企画会
働き方改革の推進	・学校全体の業務の見直し ・学習集団・指導体制の見直し ・持ち時数・空き時間の再調整 ・完全退勤時間の厳守	週に複数回、空き時間を確保している。	学部 学年
		時間外勤務 45H/月以上が連続する職員はいない。	企画会
倫理観の向上	・校長による講話 ・不祥事根絶研修の実施 ・自己チェックの実施	不祥事 0 件	管理職